圓満寺だより

第９９号　２０２５年８月

お念仏とともに
暑中お見舞い申しあげます

圓満寺　住職　釈　惠淨
副住職　釈　惠真

法座の御案内

●盂蘭盆読経法要の御案内●

８月１４日（木）午前 11 時半　午後１時半　午後３時

８月１５日（金）午後１時半　午後３時（3 時半より納骨堂読経）

以上５回の読経法要のうちご都合のよい日時に参詣してください。なお、参詣の皆様合同の読経となりますこと御了承くださいませ。また、納骨堂の読経に参詣の方は15日午後3時にご参詣いただき、引き続いて納骨堂での読経となります。

●秋季彼岸会永代経法要の御案内●

日時　９月20日（土）午後1時半

講師　本願寺布教使　植木政隆　先生

講題　「美しき西方浄土」

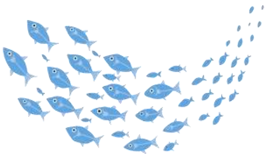
秋のお彼岸の法座です。永代経法要も併せて勤修します。まだ残暑厳しいかもしれませんがどうぞお詣りくださいませ。

【圓満寺　〒553－0004　大阪市福島区玉川4－4－25　TEL　06－6441－2791】
圓満寺院主（住職）携帯番号　090－5150－0946
HP（ホームページ）URL　https://fukusima-enmanji.org

凡聖逆謗斉回入　如衆水入海一味

暑中お見舞い申し上げます。今年は、例年よりも梅雨明けが早く、毎日厳しい暑さが続いております。この暑い中ですから、海水浴に行く方もおられるかもしれません。

阿弥陀様のおはたらきもよく海に喩えられます。お正信偈様の中でも、「本願海」、「功徳大宝海」、「大智海」というお言葉を使われています。阿弥陀様と聞くと、私たちを救済して下さる仏様という印象がありますが、お正信偈様では、「海」に入っていくという表現をされています。



阿弥陀様（宇宙）の世界は、海のように限りなく広く、深いのです。と申しますよりも、そもそも空間も時間もないのです。ですから、光壽無量と頂きます。

凡夫や聖人、五逆の者や仏法を謗る者も「海」にひとしくかえっていくのです。そうした区別をしているのは、私たちが今生きている物質世界（仏教では欲界と言います）だけであります。私たちは全て阿弥陀様という同じ無限のエネルギーに満ち満ちています。海のような阿弥陀様が今、ここ、私に満ち満ちていることに感謝し、喜び、愛でる心を大切にし、「暑い、暑い」と言う代わりに、「南無阿弥陀仏」とお念仏させて頂きましょう。称名。

【副住職】

▼お墓参りの注意点▼

今年は早くからが暑かったり陽射しが強かったりする日が多く体調を整えるのも大変です。熱中症対策のため、お参りされる際は水分補給を忘れず、なるべく2人以上で、行き先を誰かに伝え、陽射しの強い日や時間帯を避けてお参り下さい。

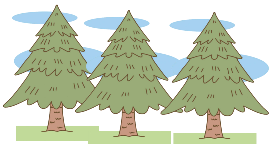
また、お供え物ですが小動物・カラス対策のためお参りが終わりましたらそのままお持ち帰り下さい。僅かの時間でも辺りを散乱させてしまします。ご協力お願いいたします。

●えんまん研修旅行報告●

～光明寺、萬福寺、一休寺を訪ねて～

６月２日（月）のえんまん研修旅行は、参加の皆様が予定より早く集合いただき、午前８時過ぎに総勢 23 名で圓満寺を出発しました。

まず、長岡京市粟生の浄土宗西山派本山・光明寺へ。紅葉の時期は大勢の参拝者で賑わうそうですが、新緑の中静かにゆっくりと参詣することが出来ました。続いて宇治市黄檗の萬福寺へ参拝。中国風の伽藍に興味津々で、昼食は有名な普茶料理（中国風精進料理）をいただきました。黄檗宗の総本山であり、江戸時代に中国より来朝された隠元禅師によって開かれた寺院です。隠元禅師はいんげん豆やスイカを日本にもたらしたと云われています。最後は京田辺市の臨済宗大徳寺派の一休寺へ。頓智で有名な一休さんが晩年を過ごされたお寺です。一休禅師の墓所もあり、なんと墓所の扉には天皇家の菊のご紋が。そう、一休さんは天皇家のご落胤だそうです。枯山水の素晴らしい庭園を拝見。また、御住職にわざわざ解説いただき、よりいっそう親しみを感じられる参拝となりました。狩野探幽の襖絵も拝見し、また。本願寺８代目・蓮如上人お手植えの三本杉も拝見しました。蓮如上人と一休禅師は宗派の枠をこえてとても仲がよかったそうです。面白いエピソードですね。



早くに出発したおかげで奈良公園付近を通ってお土産物店へ。ここで様々なお土産をみなさん購入され最後は柿の葉寿司店へ。晩ご飯をごっそり買い求めておられました。今回もガイドの谷本さんには何から何までお世話になりました。もう圓満寺の一員であるかのように感じました。運転手様、藤本様本当にお世話になりました。有り難うございました。ご門徒の皆様次年度もどうぞ遠慮無くご参加下さいませ。　詳しくはHPを御覧下さい。

門信徒の広場

2025(令和7)年度8月以降の行事予定

8/ 9(土)　えんまんじcafe(13時～15時)

8/14(木)～15(金)　盂蘭盆会

9/9(火)　えんまんじcafe(13時～15時)

9/16(火)　集い

9/20(土)　秋季彼岸会永代経(13時半～)

9/21(日)　門信徒追悼法要

10/9(木)　えんまんじcafe(13時～15時)

10月中旬　おみがき(13時～)

10/26(日)　報恩講(13時半～)

11/9(日)　えんまんじcafe(13時～15時)

11/16(日)　集い

12/4(木)5(金)　本願寺念仏奉仕団

12/9(火)　えんまんじcafe(13時～15時)

12/16(火)　集い

12/31(水)　除夜の鐘(23時より)

下記の方々がお浄土に往生されました。謹んでお念仏もうしあげます。

3・1　煙草 義明　様（野田3）

4・2　甘田 四郎　様（大開2）

4・17　百濟 菫子　様（大開1）

5・16　北野 政子　様（玉川1）

6・1　米田 益三　様（野田6）

6・5　釼﨑 克己　様（淀川区）

6・27　石田 英子　様（野田2）

7・4　山川 成子　様（玉川2）

甘田四郎様の思い出

４月に享年100歳で往生された甘田四郎様は長年にわたり、圓満寺役員として法座をはじめ様々な機会でお世話になりました。四郎様の父上・久吉様にも役員としてお世話いただきました。思えば、四郎様と小学校の同級生が筆頭総代の今井啓貴様であり、また、現役員の森畑通夫、哲洋様ご兄弟の父上稔様も同級生という間柄でした。

寡黙な方でアルコールも口にされず、ダンスと写真がご趣味であったかと思います。奥様の智子様も婦人会の一員としておみがきや法座でお世話いただきました。お浄土でご夫婦揃ってダンスを踊られている姿が目にうかんできます。どうかいつまでも圓満寺を見守って下さいませ。

院主携帯番号（緊急時に）

090－5150－0946

ホームページ　インスタグラム

スマートフォン等のカメラより上記のQRコードを読み込んで下さい。

インスタグラムではDMも送れます。気軽にお問合せ下さい。

◆圓満寺に落語がやってくる◆

8月9日(土)のえんまんじcafeは落語会を初開催します。お寺と落語は縁が深いことはご存知でしょうか？？落語のルーツは浄土真宗の説教といわれています。特に浄土真宗のみ教えが盛んな地域、上方落語には「南無阿弥陀仏」が多く登場します。浄土仏教をわかりやすく、揶揄しながらも軽妙に伝えていました。演目にもよりますが、浄土真宗のみ教えと照らし合わせ注目しながら落語を聞いてみるのも面白いかもしれません。

この度アマチュアの落語家さんが3名。全国大会に出てファイナリストになられた方もいらっしゃるそうです。どんな落語会になるか楽しみですね。お一人でも、お友達やご家族とご一緒でも。皆さんで素敵な時間を過ごしましょう。

◆寺猫テン取材・雑誌「猫びより」掲載◆

今年に入ってすぐに圓満寺の猫テンの取材の申し込みがあり、4月に取材を受けました。「神社仏閣と猫」がテーマで、テンと院主さんを撮りたいとのこと。臆病な性格なので、なかなか大変でしたが、カメラマンさんさすがプロ！結果は雑誌を見ての通り、”高貴なお猫様”のように素敵に撮っていただけました。3 ページも載せていただき、御門徒の方はもちろん、インスタグラムで交流がある方、また雑誌掲載を機に交流が深まった方もいらっしゃり、色々な縁を繋いでくれているテンです。6年前の夏に迷い猫として圓満寺に来て飼うことになりました。寺犬阿弥とも程々に仲良し。恥ずかしがり屋ですぐ隠れてしまいますが、子どもには心を許すのか比較的距離が近くなります。日常の様子はインスタグラムのストーリーに主に登場します。是非そちらもご覧ください。

寺猫テン

写真コーナー

４月８日　えんまんじＣａｆｅ
～花まつり～

４月１６日　集い

４月１８日
くじ引きの買い出し

４月２５日
おみがき

５月８日　野田村二十一人討死
証如上人御消息披露法要

５月２１日　えんまんじＣａｆｅ
～親鸞聖人降誕会～

長岡京　光明寺
御影堂にてお勤め

萬福寺
普茶料理

一休寺
三本杉

６月２日

「えんまん」研修旅行～京都西南部の名刹を巡る～

光明寺にて記念撮影

６月９日　えんまんじＣａｆｅ

６月１６日　集い